

私たちはボランティア精神のもと  
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

# 会報/市民後見人の会 No. 207

2025年2月20日発行 通巻No.217号

創刊2007年2月23日



発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL: 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

TEL&FAX: 03-6303-8265

MAIL: npokouken@gmail.com HP: <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

## ◆月 曜 カ フ ェ ◆

第51回月曜カフェが下記の通り、開催されました。

日 時: 1月27日(月) 10時～12時 場 所: 大井第二地域センター

スピーカー: 大竹麻佐子 会員(2020年入会)

「後見開始から3年を経て～賃貸住宅での日々、そして特養入居後の支援を振り返る～」

参加者: 会場11名 ZOOM2名

今回の月カフェは、実際の後見活動の様子を知りたいという会員の皆様からの要望に応え、大竹さんにスピーカーを務めていただき、リアルな後見活動についてお話いただきました。

担当に選任されて、はじめて受け取ったケース調査票の情報の少なさに驚いたことに始まり、山のような郵便物から必要なものを仕分けしていく大変さ、債務返済の交渉、在宅生活でのトラブル対応などなど、初めての体験で驚きつつも確実に後見活動を進められた様子を目に浮かぶようにお話していただきました。その中で、在宅生活ではケアマネさん、ヘルパーさん、訪問医療関係者との連携が大切なこと、値切るところは頑張りましょうという教訓をいただきました。施設入所後の居宅の残置物の処分費用をしっかりと値切り交渉されたそうです。

特養入居から現在の後見活動のお話をいただいた後、古くからの会員で、千葉県の取手で後見活動をされている横田晃一会員にもご発言いただきました。同じような苦勞をしながら後見活動をしているという話の他、取手の行政と社協を育てるという姿勢で活動なさっていること、家裁の判断により監督人無しで受任しているという話も伺いました。横田さんの発言の後、最後に市民後見人の会は正副担当が連携して業務に携わる点、会員の経験や意見を参考にできることなど会の良さについても語られ、大竹さんのお話しは締められました。

お話を伺って、自身の後見活動を振り返ると、大竹さんの頑張りと比べて私は「ここまでか」とか「仕方ないか」と妥協の気持ちが浮かんでしまうことを反省しました。大切なことは、大竹さんが言っていた「被後見人の最善を考えることに尽きる」ですね。学びました。

(記: 鈴木 薫)

## 他団体の活動紹介 ～特定非営利活動法人 とりで市民後見の会～

当会に 2008 年入会された横田晃一会員が理事をされておられる 2015 年 12 月 25 日設立の NPO です。以下、横田さんに伺いました。

### 【会の紹介】

様々な社会経験を積んだ、ボランティア精神あふれる人たちが、「市民後見」という共通認識のもと集った会です。

行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、弁護士・司法書士などの専門職、医師、ケアマネージャーなど地域の福祉資源とネットワークを構築し、私たち自身が一歩ずつ前進しながら被支援者の方々を支える活動をおこなっています。

### 【会の歩み】

はじめは専門職との共同受任で身上保護を担当していましたが、近年は単独受任の件数が増えています。また、当初は施設入所案件がほとんどでしたが、現在は在宅案件も増え、日々新たな課題と向き合っています。そして、首長申立案件が最近の傾向です。



横田晃一さん

### 〈今後の予定とお知らせ〉

- ・ 支援員連絡会 2月22日(土) ・ 情報交換会 3月14日(金)
- ・ 理事会 3月17日(月)
- ・ 第52回月曜カフェ 3月24日(月) 13時30分～15時30分

於：社協 10F ボランティア活動室 スピーカー：犬飼光子会員(2016年入会)

テーマ：特別 PC 講習編 (Zoom 招待設定他) ～日頃の会議設定から PC 活用まで～

定員：10名程度(先着順) 申込は犬飼光子 [damondejp@gmail.com](mailto:damondejp@gmail.com) まで

### 外部団体等との交流

☆2月7日 NPO 法人ライフサポート東京の新春の集いに、高原理事長・杉谷理事・渡橋理事が出席しました。和やかな雰囲気の中、情報交換と交流を図りました。

☆2月17日 成年後見に係る関係団体等との情報交換および連携強化を図る品川区成年後見制度地域連携ネットワーク交流会に、高原理事長・斉藤理事が出席しました。



品川区の 2025 年度当初予算案が先日発表されました。「生きづらさをなくし住み続けられるやさしい社会をつくる」施策では、「高齢者の見守りや生活支援サービスを所得制限なしで無償化し、高齢者や障害者など住宅確保要配慮者の居住支援の拡大などに取り組む」とありますが、成年後見制度の普及については、予算がついていません。品川区の HP でも制度の促進計画が令和 3 年のものから更新されていません。後見制度を必要とする方はますます増えていくと考えられますので、残念の一言につきます。

(編集 渡橋理恵)